

授業科目名 <英訳>	中国哲学史(特殊講義) History of Chinese Philosophy (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 教授 武田 時昌					
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 前期	曜時限	木2	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	治身の自然学(1) 古代・中世										
【授業の概要・目的】											
<p>現代社会において、高齢化が問題視され、「アンチエイジング」という目新しい造語で、加齢による機能低下を改善し、老化を抑制するための医療が唱えられている。しかし、長寿のサイエンスと呼びうる学問的体系はまだ成立していない。老化のメカニズムが十分に解明できていないからである。</p> <p>東アジアの伝統社会において、長寿達成、延年益寿のための取り組みはきわめて盛んであった。長生をめぐる言説は、治身から治国へという国家論からスタートし、宋明理学や清末の政治思想に至るまで、様々な言説を生むとともに、多種多様な技法や医薬が開発された。それらは、東洋的な養生術、健康法として近代以降にも受け継がれ、一部はサブカルチャーとして定着しているが、医薬学研究の枠外に置かれたままであり、そこに発揮されているアイデアが十分に活用されているわけではない。</p> <p>そもそも健康とは多義的なものであり、それを維持しながら充実した人生を全うするには、多元的、複眼的なアプローチが必要である。そのような視座において長寿社会の健康学の実現を構想するならば、伝統医療文化とその周辺に学ぶべき叢智があるように思われる。そこで、治身の自然学の系譜と展開を辿り、そこに発揮された中国的長生思考の特色を探る。前期は、古代、中世を扱う。</p>											
【到達目標】											
東洋的思考のルーツを辿りながら、大学生活の知的活動がいかにあるべきかを問い直し、生き方、考え方のパラダイムを古代人の叢智に学ぶことで、真の学問に目覚めた読書人としてキャンパスを独り歩きできるようになる。											
【授業計画と内容】											
<p>各回の論題と考察対象は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 仙女が語る幻夢ユートピア：仙酔島入水異聞 (2) 聖女と地母神：アナスタシアは今なおそこにいる (3) ステッペンウルフとヨウム：ヘルミーネには白いカラスが見える (4) 道家の「生」の哲学：『老子』『文子』 (5) 地下から出現した彭祖：張家山漢墓出土『脈書』『引書』 (6) 治身から治国へ：『呂氏春秋』 (7) 養神の処世術：『淮南子』 (8) 董仲舒のステラテジー：『春秋繁露』 (9) 王充の自然学、医学思想：『論衡』 (10) 葛洪の医術と仙術：『抱朴子』 (11) 山上憶良の悲嘆：『沈痾自哀文』 (13) 北インドの長命婆羅門：『天竺熱風録』 (14) 長寿者の食卓：『服薬駐老験記』 (15) 生命のインティマシー・デザイン：君のキラはどこにある 											
----- 中国哲学史(特殊講義)(2)へ続く -----											

中国哲学史(特殊講義)(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点及び達成度]

平常点（出席もレポートもすべて自己採点方式によって自他認識力を問う）。

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学習（予習・復習）等]

予習、復習のために、書庫内の奥深くに潜伏する。

（その他（オフィスアワー等））

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。